

2. 事業の目的と概要	
(1) 上位目標	パレスチナ西岸地区ジェニン県ザバブデ市における環境保全型有機農業の実施による高品質大麦・小麦の生産と加工食品作成による収入向上、家庭菜園の有機農法指導及び有機認証取得、植樹活動による土地の有効利用
(2) 事業の必要性(背景)	<p>(ア) パレスチナにおける一般的な開発ニーズ</p> <p>2000年9月に始まった第二次インティファダ以降、イスラエル占領下での経済封鎖や検問所の設置等により、パレスチナ人の生活は打撃を受けてきた。約10万人のイスラエルへの出稼ぎ者が失業したため、農村部での農業の重要性が増した一方で、パレスチナの農産物は、収穫量や農作物加工品の品質の低さ、マーケティングの課題を抱えており、自助努力による解決は困難な状態にある。</p> <p>また、伝統的・社会的に女性の地位が低く、女性の社会活動はなかなか推進されづらいという背景がある。</p> <p>(イ) 事業地、事業内容決定の背景</p> <p>対象事業地のジェニン県は、ヨルダン川西岸の北部の農村地帯で、農業収入に依存する世帯が多く、全体的に生活レベルが低く、経済格差も存在する。計画地方自治省と国連開発計画、及びローカルNGOがジェニン県全域にて調査を行い、策定した2008年～2017年のジェニン県開発戦略プランによると、経済開発、農業開発は開発目標の重要課題として掲げられている。特に農業開発の分野に関しては、農産物の生産コストの低下、マーケティング力の向上などが重点課題としてあげられており、早急な支援が必要とされている。</p> <p>事業対象地であるザバブデ市は、同県南東部に位置し人口4000人を抱える。当地域はキリスト教徒が多く居住する地域であり、人口全体の65%を占める。経済活動に関しては、公共セクターにおける就労、家賃収入、農業収入に依存しており、ほぼ全ての世帯が一部の収入を農業に依存している。農業セクターにおいては水不足、商品のマーケティングが課題となり収入が少ないという課題を抱えている。また、当地域は赤土の土壌で平地が比較的多い地域であり、穀物などの農作物作成に適している。</p> <p>これらの状況を踏まえ、申請事業では、当会の環境保全型有機農法(Permaculture 農法、以下PC農法)の普及と連動させた収入創出・貧困削減対策の知見を最大限に活かし、大麦・小麦の有機栽培指導と、加工食品の作成指導、マーケティング支援による農家の貧困削減および雇用創出を図る。とりわけ、隣接するトバス県で実施してきた有機農業、男女混合の組合設立、加工食品のマーケティング実績をトバス県裨益者との交流を、スタディーツアー等を通して本事業裨益者とも共有し、有効活用することを目指す。また、女性の地位向上、社会進出を念頭に置き、有機野菜栽培、収穫物を用いた加工食品製造の指導、マーケティング支援を通して、収入創出につなげていく。これに加え、栽培する農産物の有機認証を取得することにより、競合品との差別化を図る。更に、個人レベルの裨益のみならず、地域での有機農業の促進を通じたコミュニティ全体の活性化</p>

	を目指す。
(3) 事業内容	<p>第1年次</p> <p>本事業は3カ年事業を予定しており、申請事業は第1年次に該当する。第1年次に予定している主な事業内容は以下の通り。</p> <p>(ア) 有機大麦・小麦の栽培、製品作成指導</p> <p>農業に従事する住民を対象に幅広く募集を行った上で家庭の経済状況も参考にし、市役所職員・村のリーダーと調整を行った上で、参加希望者がいる地域毎などに分け、住民参加のもと話し合いを実施する。話し合いの結果をもとに、意欲が高く支援が特に必要な希望者を裨益者として選定してグループを形成し、有機大麦・小麦の栽培方法を指導する。具体的実施内容は以下の通り：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 日本人有機農業専門家や現地専門家による有機農業に関するワークショップの実施。 ② 農場での有機大麦・小麦栽培の実施。種子を配布し、日本人有機農業専門家や現地専門家が技術指導を行い、参加者の有機農業に対する知識、技術を高める。 ③ 農場で栽培する大麦、小麦の有機認証取得に向けた日本人有機認証専門家によるワークショップの実施。 ④ 収穫した有機大麦・小麦の製粉技術を指導し、製品の販売活動を実施し、域内外市場への販路開拓を図る。 <p>(イ) 家庭有機農業（PC農法）の導入</p> <p>社会進出の機会が少ない女性を含む農業従事者を対象に幅広く募集を行い、有機農法の基礎知識に関するワークショップを行う。また、ワークショップ参加者から家庭菜園参加希望者を募集し、市役所職員・村のリーダーと調整を行った上で、参加希望者がいる地域毎などに分け、住民参加のもと話し合いを実施する。話し合いの結果をもとに、家庭菜園実施に意欲を見せ支援が特に必要な農業従事者を裨益者として選定してグループを形成し、有機農法の指導を実施する。具体的実施内容は以下の通り：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 日本人有機農業専門家による、有機農業に関するワークショップの実施。 ② 日本人有機認証専門家による、野菜の有機認証取得に向けたワークショップの実施。 ③ 家庭菜園での有機野菜栽培の実施。加工に適し、土地に合った野菜の苗、種子等を配布し、日本人有機農業専門家が訪問技術指導を行い、幅広く農業従事者の有機農業に対する意識、技術を高める。 <p>(ウ) 女性を対象とした加工食品作成技術の指導</p> <p>社会進出の機会が少ない女性を幅広く対象とする。家庭菜園参加女性が裨益者として指導を受けるほか、農業従事者に関わらず事業に参加を希望する女性を対象として、市役所職員・村のリーダーと調整を行った上で住民参加のもと話し合いを実施し、支援が特に必要な女性を裨益者として選定し、グループを形成する。事業により収穫された小麦、有機野菜を用いた食品加工技術習得のためのトレー</p>

ニングを実施し、収入創出につながる有機農業モデルの構築を行う。
 具体的実施内容は以下の通り：

- ① 農場にて収穫され、製粉・製品化された小麦粉を用い、マフトゥール（クスクス）、パン、クッキーなど地域内外の市場販売、地域の特産品としての販売に適した加工食品の商品開発、及び作成指導を実施する。
- ② 家庭菜園にて栽培された野菜を用い、タイム（乾燥ハーブ）、ドライトマト、胡麻など、地域内外の市場販売に適した加工食品の商品開発、及び作成指導を実施する。
- ③ 加工食品の展示会などに積極的に参加し製品の販売活動を実施するほか、パレスチナ農業庁及びイスラエル農業省等からの協力を得て域内外市場への販路開拓を図る。

（エ）土地の有効利用を目的とした植樹

利用可能な耕作地、未耕作地等の有効利用を目的として、水不足の問題を抱える当地での栽培に適した果樹類の植樹を実施する。

- ① 現地専門家による、植樹に関するワークショップの実施。
- ② ブドウ・アーモンドなどの苗木、種子等を配布し、現地専門家による栽培技術の指導を行う。

第 2 年次

第 2 年次では、第 1 年次に引き続き有機大麦、小麦および有機野菜の栽培、収穫物を用いた加工食品作成、マーケティング、商品開発を行うほか、域内外市場への販売を継続し、市場拡大を目指す。また、第 1 年次に収穫した大麦を使用し、麦芽の製造を行い、麦芽の販売、麦芽を使用した製品の商品開発・製造を行いマーケット開拓を行う。加えて、有機認証取得を視野に入れた参加者の能力強化を実施する。また、第 1 年次に形成された各活動毎のグループを基盤として、事業完了後の持続性を視野に入れ、各グループをまとめた組織作りを行う。

（ア）有機大麦・小麦の栽培、製品作成指導

- ① 第 1 年次に引き続き、日本人有機農業専門家の指導を受け有機大麦・小麦の栽培を行う。
- ② 有機認証取得に向けた参加者の能力強化を図る。
- ③ 日本人麦芽製造専門家による麦芽製造に関するワークショップの実施。
- ④ 収穫した大麦を使用し、麦芽の製造を行う。日本人麦芽製造専門家による高品質の麦芽製造指導、参加者に麦芽に関する基礎知識、製造技術を定着させる。
- ⑤ 生成した麦芽を製品化し、パレスチナ、イスラエル及び近隣国の醸造会社へマーケティングし、販路開拓を図る。その他、麦芽糖や麦芽健康飲料等の商品開発・製造を行い、域内外市場への販路開拓を図る。

（イ）家庭有機農業（PC農法）の導入

- ① 第 1 年次に引き続き、家庭菜園での有機野菜栽培を行う。日本人有機農業専門家による家庭菜園の指導を引き続き実施し、参

加者の有機農法に対する意識を更に高める。

② 有機認証取得に向けた参加者の能力強化を実施する。

(ウ) 女性を対象とした加工食品作成技術の指導

① 第1年次に引き続き、有機大麦・小麦、有機野菜を用いた加工食品の商品開発、作成指導を実施する。

② 製品の販売活動を引き続き実施し、域内外市場への販路拡大を図る。

(エ) 農地の有効利用を目的とした植樹

① 第1年次に引き続き、土地に合った果樹の苗木および種子を配布し、植樹を行う。

② 栽培された果樹を用い域内外の市場販売に適した食品の商品開発、及び作成指導を実施する。

③ 製品の販売活動を実施し、域内外市場への販路開拓を図る。

第3年次

第3年次では、第2年次での事業課題の解決を図りつつ事業を継続実施する。第1年次、第2年次を通して形成されてきた組織に対して、事業完了後の移管を踏まえ、必要に応じ省庁への登録を行う他、事業引継ぎの為の体制構築と能力強化を行う。また麦芽糖を利用した麦芽飲料など、第2年次より製造に取り組んでいる麦芽飲料の種類を増やす。製造した麦芽飲料のマーケティング、商品開発を引き続き行うほか、域内外市場への販売を通じ、市場開拓・拡大を目指す。

(ア) 有機大麦・小麦の栽培、製品作成指導

① 第2年次に引き続き、有機大麦・小麦の栽培、契約農家の組織強化を行うほか、有機認証取得を目指す。

② 麦芽製造、麦芽を用いた麦芽糖や麦芽飲料等の製造規模の拡大を行う。また、製造施設の拡大および機器の使用技術の移転も併せて行う。

③ 製品の販売活動を実施し、域内外市場への販路開拓を図る。

(イ) 家庭有機農業（PC農法）の導入

① 第2年次に引き続き、日本人有機農業専門家による家庭菜園の指導を実施し、家庭菜園での有機野菜栽培を行うほか、有機認証取得を目指す。

(ウ) 女性を対象とした加工食品作成技術の指導

① 第2年次に引き続き、有機大麦・小麦、有機野菜を用いた加工食品の商品開発、作成を行うほか、定常的な販売活動を実施し安定した収入創出を目指す。

② 加工食品グループの女性の能力強化を実施する。

(エ) 土地の有効利用を目的とした植樹

① 第2年次に引き続き、土地に合った果樹の苗木および種子を配布し、植樹を行う。

② 第2年次に引き続き、栽培された果樹を用いた商品開発、作成を行うほか、定常的な販売活動を実施し安定した収入創出を目指す。

(4) 持続発展性	<p>ザバブデ市における有機大麦・小麦栽培、家庭有機農業、各製品作成、収入創出活動が軌道に乗り地域一帯に波及するよう、参加農民、及び参加女性の組織強化を図り、既存の農業組合の能力強化あるいは新たな組合や委員会を設立することで、効率的・持続的に活動が継続され、資機材や資金の管理が可能となる体制の素地を築く。本事業で供与する溜池、水タンク等の農業、灌漑設備や、食品加工用資機材等については、これらの組合または委員会に譲渡する。また、商品開発、マーケット開拓及び販路確保を視野に入れ、第1年次よりイスラエル農業省、パレスチナ農業庁、及びイスラエル内で活動するNGOと協力関係を構築し、参加者との関係構築も合わせて行うことで、事業終了後も継続的に生産・販売活動を行う体制作りを行う。</p>
(5) 期待される成果と成果を測る指標	<p>(ア) 有機大麦・小麦の栽培、麦芽製造指導</p> <p>① 期待される成果：農業従事者が事業参画を通して、日本人有機農業専門家の指導により第1年次より有機農業に関する基本的な知識を習得するほか、当知識に基づき有機大麦・小麦の栽培を実践する。</p> <p>成果を測る指標：各年約25農家(約100人)にアンケートを実施し、理解度の深化が結果で確認される。また作付けや収穫の成果を専門家が確認する。</p> <p>② 期待される成果：参加者が第1年次より有機認証取得に向けた栽培方法および土壌改良に関する知識を習得する。</p> <p>成果を測る指標：各年約25農家(約100人)が有機認証取得に向けた作業レポートを作成する。また、その理解度が第1年次にアンケート結果で確認される。</p> <p>③ 期待される成果：参加者が第1年次より小麦の製粉技術を習得する。</p> <p>成果を測る指標：第1年次より約15農家(約60人)が、小麦粉の製品化方法を学び、第2年次以降年間3t程の安定した生産規模を維持する。</p> <p>④ 期待される成果：参加農家が、第2年次より日本人製麦技術専門家の指導により高品質麦芽に関する基本的な知識、作成技術を習得する。</p> <p>成果を測る指標：第2年次より約10農家(約40人)にアンケートを実施し、理解度の深化が結果で確認される。また、麦芽製造の成果を専門家が確認する。</p> <p>(イ) 家庭有機農業(PC農法)の導入</p> <p>① 期待される成果：女性を含む農業従事者が、日本人有機農業専門家や日本人有機認証専門家のワークショップへの参加を通して、第1年次より有機農業および有機認証取得に関する基本的な知識を習得する。</p> <p>成果を測る指標：各年約50農家(約200人)にアンケートを実施し、理解度の深化がアンケート結果で確認される。</p> <p>② 期待される成果：参加者が、日本人有機農業専門家技術指導を</p>

	<p>踏まえ、第 1 年次より家庭菜園にて有機農業を実践する。 成果を測る指標：各年約 20 農家（約 80 人）が有機認証取得に向けた作業レポートを作成する。また、生産物の収穫の成果を専門家が確認する。</p> <p>③ 期待される成果：無農薬栽培の学習と実践により、第 1 年次より農薬の危険に対する意識を高める。 成果を測る指標：各年約 20 農家（約 80 人）にアンケートを実施し理解度の深化がアンケート結果で確認される。</p> <p>④ 期待される成果：本事業の成果を含む有機農業に関するパンフレット作成、及び市役所・農業庁等を通じたパンフレット配布により、第 1 年次に地域の農業人口に効果が波及する。 成果を測る指標：第 1 年次に間接裨益者約 4000 名が、パンフレットを受け取ることで、有機農業の利点について理解を深める。</p> <p>(ウ) 女性を対象とした加工食品作成技術の指導</p> <p>① 期待される成果：第 1 年次より女性参加者が、マフトール（クスクス）、パン、クッキー、タイム（乾燥ハーブ）、ドライトマトなどの作成技術を習得する。 成果を測る指標：各年参加者約 20 名が生産した商品の質と量を、専門家が確認する。</p> <p>② 期待される成果：第 1 年次より作成した製品を販売することで、地域の産物となり得る新商品を産出し地域内外にアピールできるほか、製品販売による売上が見込める。 成果を測る指標：各年の製品の取扱い店舗、顧客の獲得数、売上金額。</p> <p>③ 期待される成果：第 1 年次より女性参加者がグループで加工食品作成を実施し収入創出につなげることで、社会進出の機会が少ない女性の、有機農法をベースとした収入創出モデルを構築できる。 成果を測る指標：各年の加工食品の販売実績、及び地域内外の女性グループとの交流を通し当実績を共有する。</p> <p>(エ) 土地の有効利用を目的とした植樹</p> <p>① 期待される成果：第 1 年次より参加者が果樹類の栽培技術を習得するほか、当知識に基づき、植樹を実践する。 成果を測る指標：第 1 年次の約 100 農家（約 400 人）の理解度がアンケート結果で確認される。また、各年 400 本の果樹を植樹する。</p> <p>② 期待される成果：第 1 年次より未耕作地等を活用することで、耕作地の拡大および土地の有効利用に対する意識向上を図る。 成果を測る指標：各年約 100 農家（約 400 人）にアンケートを実施し土地有効利用に対する意識向上の推移がアンケート結果で確認される。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------